

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
310004	X-21-B-2-310004	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	2年
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	2年
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	2年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	2年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
ゼミテーマ・タイトル							
日本の家事労働ハラスメント							
内容							
<p>「国際研究ゼミナール1・2」は各教員が担当する3・4年の専門ゼミの15回体験版である。私の3・4年のゼミではジェンダーという視点から、主に日本の結婚行動、家事労働、育児支援、労働・雇用、介護、男女共同参画社会、ワーク・ライフ・バランス、余暇と労働といった家計 (household) に関連する諸問題について考える。そこでこの2年ゼミでは下記テキストを使用し、世界でも類例をみないほどに女性に偏った日本の家事労働と、男女雇用機会均等法制定を機に平等になったはずの労働・雇用の現場について、いま日本でどのようなことが起こっているか、その現実を知り、時に欧米諸国との比較を加えながら、ゼミ員と教員がともに考え、議論する。</p> <p>毎回の予習・復習に、合わせて4時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらいます。</p>							
使用予定テキスト							
竹信三恵子『家事労働ハラスメントー生きづらさの根にあるもの』岩波書店、2013年10月(800円+税)							
テキストは以下の各章で構成されている(テキストは各自必ず購入すること)。							
はじめに							
序章 被災地の百物語							
第1章 元祖ワーキングプア							
第2章 専業主婦回帰の罨							
第3章 法と政治が「労働を消す」とき							
第4章 男性はなぜ家事をしないか							
第5章 ブラック化するケア労働							
第6章 家事労働が経済を動かす							
第7章 公平な家事分配を求めて							
あとがき							
ゼミの進め方							
毎週3名の報告者を決め、様々なデータや資料を使用しつつ該当箇所の要約と批判的考察をレジュメにして他のゼミ員と教員に配布し、輪読を進める。なお、各報告者には1名ずつコメントーターを決め、該当箇所やレジュメの内容について質問をしてもらう。当日は事前に決められた司会進行役に進行を任せ、レポーターによる報告とコメントーターによる質問を経て、自由に議論してもらう。							
成績評価基準							
出席60%、課題提出40%。ゼミ中の姿勢、遅刻も考慮する。レポーター、コメントーター及び司会進行役の欠席は認めない。							
ゼミ選択上のアドバイス							
労働・雇用あるいは家事・育児、経済の男女間格差に少しでも関心のある学生、料理や掃除といった家事労働が大好きな学生、反対に大嫌いな学生どちらでも結構です。							
その他							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
310004	X-21-B-2-310004	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	2年
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	2年
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	2年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	2年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
国際研究ゼミナール2	熊谷 卓			【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

ゼミテーマ・タイトル

「法的な思考（リーガル・マインド）を深化させよう！」

内容

ゼミの内容(目的も含む)：

賃貸借契約、遺言、黙秘権、表現の自由、条約、ということばに共通するものはなにか、と問われれば、なんと答えるだろうか？「法」とか「ルール」という答えを想定することができるとは思わないだろうか。より細かく見れば、それぞれ民法（借地借家法）、刑法（刑事訴訟法）、憲法、国際法といった具合に。そして、われわれは実は様々な場面でこの法と関わっているといえることができる。

ところで、ほとんどのみなさんは民事法そして刑事法的にみて、「未成年」最後の年に2年次生ゼミナールに参加することになると思う。その翌年には、およそすべての法律の容赦ない適用対象となってしまう。そのため、原則として、もう少年（少女）Aではない。その前にできるかぎり、法というものの考え方に接しておくことは決して無駄ではない、思うのであるが、どうだろうか？

そこで、このゼミナールは、各ゼミ生の法的な思考をより深めてもらうことを主要な目的とする（それは同時に3／4年次ゼミナールへの橋渡しとなる）。

具体的にいうと、次の二つのテーマ、

①性同一性障害者をめぐる問題(自己と異なる他者に対する配慮とは)および

②死刑廃止の是非に関する問題(責任の取り方とは)

について、じっくりと、深く検討する予定である。

さらに、時間が許せば、

男女区別の是非（レディース・デイとは男性に対する差別か、適法か）、

美容整形に納得がいけないときの慰謝料(美の基準とは、医療過誤とは)、

児童の権利などの問題についても検討し、ゼミ生とともに議論をしたいと思う。

毎回の予習・復習に、合わせて4時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらいます。

使用予定テキスト

別途指示する。

教科書販売にて事前に購入し、初回ゼミに持参ください。

ゼミの進め方

上記のテーマに関して、ゼミ生のなかから報告者とコメントを決める。彼らの議論を土台としてその他のゼミ生はテーマにつき、理解を一層深め、議論を進める。

レポートの提出も適宜求める。

報告のやり方、レポートの書き方についても、十分に時間をかけて説明をする予定です。安心してください。

成績評価基準

報告やレポートの良し悪し（50パーセント）、ゼミへの参加度(単に出席しているという意味ではない)（50パーセント）を基準に成績をつける。

ゼミ選択上のアドバイス

「内容」からすると、「面白そうな」（気楽な）ゼミに見えると思いますが、「面白い」と感ずるかどうかは、皆さんの勉強量にかかっています。

「法律は面白い」と感ずるまでにはハードワークが要求されます。それでもよい、という人を歓迎します。

どうぞよろしく願います。

その他

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
310004	X-21-B-2-310004	2	後期	【1年次生】国際学部国際化学科	専門	必修	2年
				【1年次生】国際学部国際化学科英語集中コース	専門	必修	2年
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際化学科	専門	必修	2年
				【2年次生以上】国際学部国際化学科英語集中コース	専門	必修	2年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

ゼミテーマ・タイトル

市民による国際協力の実践

内容

国際協力は、何のために、誰が、どのように行うものなのでしょうか。また、グローバル化が進んだ世界に生きる市民として、私たち一人ひとは、日常生活のなかでどのように国際協力を実践できるのでしょうか。本ゼミでは、国際協力に関する文献を精読しながら、これらの問いについて考えます。

本ゼミでは、文献の講読と討論に加えて、グループごとに関心のある国際協力の分野を選び、その分野においていま何が問題となっているのかを調べ、それを解決するために私たち一人ひとりがどのようなことを実践できるのかを考え、発表してもらいます。

なお、希望者がいれば、カンボジアをフィールドに国際協力の現場を訪問する、スタディ・ツアーの実施も検討します。

毎回の予習・復習に、合わせて4時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらいます。

使用予定テキスト

今年度は最初に以下の書籍を読み、その後は履修者の関心を聞きながら相談して決めます。

デイビッド・ヒューム『貧しい人を助ける理由—遠くの子とあなたのつながり』日本評論社、2017年

国際協力の具体的なテーマについて把握するには、以下の書籍に目を通しておくことを勧めます。

内海成治編『新版 国際協力論を学ぶ人のために』世界思想社、2016年

牧田東一編著『国際協力のレッスン—地球市民の国際協力入門』学陽書房、2013年

ゼミの進め方

(1) 文献の講読と討論、(2) 各グループのリサーチに関する発表、を組み合わせで行います。また、学期末にはグループで発表した内容を、各自でレポートにまとめます。

成績評価基準

(1) 出席、(2) 文献講読と討論の内容、(3) グループ発表の内容、(4) レポートの内容、をもとに総合的に評価します。

グループ発表に対するフィードバックとして、評価シートにもとづく講評を行います。

ゼミ選択上のアドバイス

「国際協力論」の授業を履修済であるか、または本ゼミとあわせて履修することを勧めます。

また、グループでリサーチや発表の準備を行うため、ゼミの時間以外にもグループごとに集まって作業することが求められます。

国際協力について学ぶだけでなく、国際協力にかかわる学生団体で活動したり、日常生活においても身近な国際協力を実践したりする、意欲的な学生の履修を期待します。

その他

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
310004	X-21-B-2-310004	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	2年
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	2年
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	2年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	2年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

ゼミテーマ・タイトル

「現代の社会問題と私たち」(前期・後期同一テーマ)

内容

国際研究ゼミナール1・2は基礎ゼミナールの延長線上にあると僕は考えています。ものを読み、考え、議論し、それを文章にまとめるという作業は基礎演習と同じです。しかしこのゼミで中心になるのは基本的な読解力を前提とした上での議論です。

今年度の細かいテーマは未定です。ただし「現代社会は多くの問題をかかえていて、その多くの問題と人間一人ひとりが生きにくいという事実は関連している」という基本的認識をはずれることはありません。特に先進資本主義国に特有の諸問題を取り扱う予定ですが、どんな事例を議論するときにも他人事としてではなく自分の問題として考えることを要求します。

たとえば現在、世の中で多くの人が殺されています。その「殺人」という行為には変わりがなくても、それら多くの殺人を私たちは細かく差異化していきます。テロリストによる虐殺、法治国家における死刑、正当な防衛行為、教育の「行き過ぎ」としての体罰、英雄的戦功、医療過誤、テロ根絶のための必要悪、反逆者の処刑、武装蜂起に対する秩序維持……など、呼び方はいろいろです。しかしすべての行為が「人が人を殺す」という点においては同じです。こうした呼称の差異という問題は、そのままそれらの人殺しという行為と私たちの関係を明らかにしていくはずで、その関係の総体が現代社会を構成していると考えられませんか。

こうしたことについて「そんなもん知るか。全部違うのは当たり前だろ」と言って開き直るのは、現在の社会のありかたをまったく批判していないということです。目の前の世界を「快適」だと思いこんでいるということで、それは実は何も考えてないということを表明しているだけです。酸素を吸って二酸化炭素を吐いているだけです。マレーシアの森林資源のためにはなっているでしょうが、人生の意義は限りなく低いでしょう。何かを考えて1日生きるのと、何も考えずに5万年生きるのを比較すれば、それは前者のほうがはるかに人間として意義深いと僕は考えます。

使用予定テキスト

田中克彦 『ことばと国家』 岩波新書
 鶴見俊輔 『戦時期日本の精神史』 岩波書店
 小倉千加子 『セックス神話解体新書』 ちくま文庫
 フロム 『自由からの逃走』 東京創元社
 杉田敦 『デモクラシーの論じ方』 ちくま新書
 以上を候補としていますが、初回に参加者と相談して決定します。

ゼミの進め方

テキストを全員で講読します。全体の進行を担当する「司会」、内容の要旨を報告する「レポーター」と、その内容を批判する「コメンター」を中心に議論を進めます。ゼミ生はこのみっつの役割を順番に担当します。各テキストの読了後にはそのテーマについてのレポートを書いてもらいます。

成績評価基準

出席を重視します。各セメスター2回までは欠席しても単位を出します。3回以上欠席すると単位は出ません。欠席の理由は問いません。バイトでも風邪でも、欠席は欠席です。

ゼミ選択上のアドバイス

自分をだまさないことです。大学生活を言い訳の多い4年間にしてしまうと、それは癖になります。その後の人生でも同じ状況が続く危険性は高いでしょう。ですから本当は遊びたいのにきついゼミを選んだりすれば、教師も学生もお互い不幸になるのは明らかです。そしてこのゼミはきついゼミです。そこを越えてよくよく考えてください。勉強したい人、議論したい人にとっては意味のあるゼミにしたいと考えています。

その他

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
310004	X-21-B-2-310004	2	後期	【1年次生】国際学部国際化学科	専門	必修	2年
				【1年次生】国際学部国際化学科英語集中コース	専門	必修	2年
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際化学科	専門	必修	2年
				【2年次生以上】国際学部国際化学科英語集中コース	専門	必修	2年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【2年次生以上】情報化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

ゼミテーマ・タイトル

新潟の地理を題材に、調べ、分析・整理し、プレゼンする力を養う。

内容

ゼミや卒論指導で学生と接して毎年強く感じることは、今の学生は（昔からそうだったのかもしれないが）「自分で調べる力が圧倒的に弱い（あるいはその気力が無い）」ということです。テキストを講読しても書かれてある文章を短くして言うだけで、それはどうということ？と問うとほとんど何も答えられない。つまりわかっていないのである。説明するということがどうということか理解できていないのである。これでは講読（発表）自体が無意味である。

このゼミでは、新潟に関する地理的事象を1000字ほどで記述した簡略な文章の中からより深く調べられる記述を複数選定してもらい、それをできる限り詳しく調べなおして、発表するというものです。そのために時間をかけて色々な資料を探しだしてもらいます。その資料を内容に応じて加工し、資料にものを言わせる形で整理しまとめてもらいます。発表までに私との個々のやり取りを最低でも3回行い、内容をより深く充実したものとしていきます。このような過程を通じて、資料の扱い方とプレゼンする方法を学んでもらいます。発表までの準備期間は最低でも3週間かけてもらいます。付け焼刃で準備したものは報告させません。

毎回の予習・復習に、合わせて4時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらいます。

使用予定テキスト

鈴木郁夫・中田 勝・田中和徳『新潟ものしり地理ブックⅡ』新潟日報事業社。2013年。

ゼミの進め方

1回のゼミで2人発表。発表には必ずパワーポイントを使用します。

成績評価基準

取り組み姿勢、発表内容、レポートにより評価。

ゼミ選択上のアドバイス

地理的な事項に興味・関心のある人が望ましいが、それ以外でも調べる力を身に付け、パワポで発表するというスキルを身に付けたい人。

その他

上述したように、発表は全員パワーポイントを使用します。今は、企業でも官公庁でも会議等での報告はほぼパワーポイントを使用します。効果的でわかりやすいパワーポイントの作成技術が誰にでも求められています。パワポを否定的にとらえる教員もまだいますが、それは時代錯誤といっていでしょう。パワポの発明と浸透によって、少なくとも理系・情報系の分野のプレゼンは革命的に変わったといって過言ではありません。このゼミでは、どうやって効果的なパワポ画面を作成し、それをどう使いながらプレゼンするのか、といったことも、個々人に丁寧に指導します。

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
310004	X-21-B-2-310004	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	2年
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	2年
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	2年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	2年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

ゼミテーマ・タイトル

現代の国際社会と国際紛争を分析する視点を学ぶ

内容

20世紀から21世紀にかけて、世界は、第一次世界大戦、第二次世界大戦、冷戦下の紛争など、様々な国際紛争を経験してきました。1980年代末に冷戦が終結し、世界が平和になるかと思われましたが、その後も、民族紛争、対テロ戦争、中東の紛争など、国際紛争が継続しています。現在は、冷戦期のように、比較的明確な紛争の構図がある時代ではなくなり、国際紛争の背景や構図がより複雑になっているように思います。したがって、現在の国際社会と紛争を理解するためには、分析の鍵となる基本的な視点を学ぶことが重要です。

本ゼミでは、篠田英朗著『国際紛争を読み解く五つの視座-現代世界の「戦争の構造」』を読みながら、国際社会で発生している紛争を理解するための基本的な視点を学ぶことを目的とします。

さらに、ゼミでの報告を通じて、専門書の読み方、内容のまとめ方、レジュメの作成方法、文献の引用方法、発表の仕方、質疑応答の方法など、3年次、4年次に専門的なテーマを学習するための方法についても学びます。

使用予定テキスト

篠田英朗著『国際紛争を読み解く五つの視座-現代世界の「戦争の構造」』講談社、2015年。

ゼミの進め方

学生が、本の各章を担当し、内容をまとめ、レジュメを作成してゼミ内で報告します。報告内容に基づいて、学生の間で質疑応答を行い、必要ときは、教員が補足説明を行います。報告する学生は、本に書かれている内容について、他の学生が理解できるように、情報を集めて補足することが求められます。

成績評価基準

学生によるゼミへの参加と報告内容に基づいて成績を出します。具体的には、(1)ゼミへの出席・授業態度(25%)、(2)担当した章に関する発表内容と取り組みへの姿勢(50%)、(3)ゼミでの質疑応答とディスカッションへの参加(25%)、に基づいて評価します。

ゼミ選択上のアドバイス

ゼミに参加する学生は、担当した部分以外の章についても事前に読み、内容を予習してください。また、ゼミでのディスカッションに、積極的に参加することが求められます。

その他

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習